

ぴかぴかしんぼー

臨時休業中②号

令和2年5月15日(金)
 品川区立台場小学校
 校長 木村 巳典
 きこえとことばの教室
 担任 金田・高橋・木下
 飯野・忍足・山城
 Tel&Fax03-3471-4943

きこえとことばの教室に通って来てくれているみなさん、そして保護者のみなさま、その後お元気ですか？

少しずつですが、コロナ感染者の人数が減ってきていますね。それでも、まだまだ我慢の時期です。日々力を尽くして下さっている方々や身近な大切な家族や友だちを守るためにももう少しステイホーム、がんばりましょう。

さて、わたしたちからハガキや教材を郵送した後、子どもたちから返事のハガキや、家で取り組んでくれた季節のプリントが届いたり、口の体操をがんばっていますという連絡がきたりして、先生たちはとてもうれしい気持ちになりました。今までよりもっとみなさんにはやく会って、一緒にきこえやことばの勉強をしたいという思いが強くなりました。ハガキやプリントを送ったり届けたりしてくれたみなさん本当にありがとうございました。

今回は、各担当者が電話連絡で保護者の方から同った子どもたちの様子を基に、いくつか教材を作成し同封していますので、おうち時間にぜひやってみてください。もちろん各学校からの課題が終わってからでかまいません。

早くみなさんと会える毎日が戻ってきますように。



★同封した教材 ~時間がある時にぜひやってみてください~ 全員に・・・

- 往復はがき → 後日 郵送します
- 自己紹介シート (解説、見本付き)

- きこえの教室のみなさんに・・・
- 聞き取り課題のサイト一覧

その他は保護者の方の希望があった場合のみ、それぞれのお子さまに合った教材を用意させていただきました。ご活用ください。取り組んでみた感想などをお寄せいただけたら幸いです。

往復はがきについて、ぜひお子さまと一緒に書きいただき、ポストへ投函して下さい！

台場小学校のホームページにアップしたコラムを一部抜粋してご紹介いたします。

★吃症状への対応の仕方★

コロナウイルス感染症拡大の影響で自粛、休校が続く中、子どもたちも運動不足や、学校・遊びに行けない不安や不満を抱えていることが考えられます。

吃音の波の原因は、まだはっきりとはわかっていませんが、体調や心の状態によっても変化するといわれています。現在のある意味特殊な生活の中で、吃音が増える(もしくは減る)という変化がみられることがあるかもしれません。

そんなときに、保護者の方にしてほしい接し方をご紹介します。

- ①話し方ではなく、話の内容に注目するよう心がける。
- ②言い直しはさせないようにする。
- ③言葉の先取りをせず、話をゆっくりゆったりと聞く。
- ④吃音のことを聞かれたら、話題にする。
- ⑤たくさん褒める！！

自粛期間を利用して、お子さんとゆっくりとお話する時間を作ってみてください。そうすることが、保護者の方々とお子さんが今後吃音とうまく付き合っていくこれからのつながることを願っています。

★聞こえにくい人とマスク★

みなさんは今、マスクをして生活をしていると思います。「聞こえにくい人と話すときは口を見せて話す」ということが当たり前かと思いますが、こういう時にはどうするのだろう・・・と疑問が湧いてきました。

先日テレビでこの問題を解決するひとつのアイデアが提案されていました。それが口元が見えるマスクです。アメリカで聴覚障害を学んでいる21歳の大学生が作ったそうです。口元の部分だけは透明のフィルムできているため、口元が見えて相手が何を言っているのかわかりやすくなりそうです。(※実物の写真はホームページに掲載してあります。)

これを機に、聞こえにくい人や友だちへの情報保障のシステムがもっと整えられるように一緒に考えていきましょう。

